

### 第三章 船員の需要

本章は船員の需要高を決定すべき各項に付研究するを以て目的とす。

#### 第一節 論

船員は船舶に乘組み其の運航に従事するを以て本職とするものなるを以て之が需要の高を決定するものは第一に日本船員を需要する内外國船舶數なりとす。然れども實際上外國船が日本船員を需要するは下級船員の若干を除き高級船員に付ては殆ど例外に屬するを以て全然之を度外視するも大なる差支無かるべく從て日本在籍船のみを調査すれば可なり。

第二船員は單に海上船舶に勤務するのみならず陸上に在りては海事關係の諸事業の執行機關に技術員として需要あるべく殊に海技免狀受有者に於て然りとす而して海運の發展し其經營の大規模と爲り科學的と爲るに従ひ益々其所要員數を増加すべく現時にありては相當の多數に上るを否定すべからず。

第三に各會社に於て海技員として雇入れたるもの、中豫備員として保存し實際船舶に乘組ましめざる者の若干を有すべし。

故に本章に於ては先づ日本船舶の現在數と將來の増加率を研究し次に海技免狀受有者を雇用すべき陸上事業の内容を調査し並に豫備員の數をも知らむと欲す。

第二 現在日本船舶總數 (第一表) (大正六年八月末算)

汽	船	船	船	汽	船	船	船
二千噸以上百噸未満	船數	總噸數	登簿噸數	五千噸以上六千噸未満	船數	總噸數	登簿噸數
107	1,247	4,570	3,111	3	1,236	1,033	1,033
百噸以上三百噸未満	3,077	8,693	3,606	六千噸以上七千噸未満	17	1,034	6,557
三百噸以上五百噸未満	1,921	4,395	2,447	七千噸以上八千噸未満	10	739	4,637
五百噸以上千噸未満	1,618	3,635	1,675	九千噸以上一萬噸未満	6	5,051	3,574
千噸以上二千噸未満	1,321	2,945	1,297	一萬噸以上	6	7,970	3,574
二千噸以上三千噸未満	1,216	2,521	1,126	合計	33	1,150	1,074
三千噸以上四千噸未満	84	1,621	766	合計	49	1,250	1,074
四千噸以上五千噸未満	33	647	283	合計	100	3,194	2,500
合計	14,000	33,330	15,440	合計	100	3,194	2,500

  

帆	船	船	帆	船	船	帆	船
二十噸以上百噸未満	船數	總噸數	登簿噸數	五百噸以上千噸未満	船數	總噸數	登簿噸數
8,000	3,700	3,600	3,100	二	1,000	1,000	900
百噸以上三百噸未満	1,800	4,000	2,100	二千噸以上	1	1,000	1,000
三百噸以上五百噸未満	1,200	2,500	1,200	合計	3	2,000	1,900
合計	11,000	10,000	5,400				

  

石	船	船	石	船	船	石	船
二百石以上三百石未満	船數	積	五百石以上千石未満	船數	積	千石以上	船數
3,400	5,350	1,350,739	千石以上	42	26,143	合計	1,073
三百石以上四百石未満	3,400	1,170,811	合計	1	1,437		
四百石以上五百石未満	1,500	676,657			3,480,577		